

## 研究会・会員活動状況

## 一、学会研究発表会

第十二回 Inner Speech-Form に関して

(一九八七年二月十七日)

石原 堅 司

第十三回 繊維問屋における販売戦略の比較

(一九八七年三月十七日)

岡 嶋 隆 三

第十四回 ショペンハウアーの意思否定Ⅱ

(一九八七年四月二十八日)

児 玉 正 幸

第十五回 F・スコット・フィッツジェラルドの「偉大なギャツビー」について

——アメリカ文学におけるその位置について——

(一九八七年五月二十六日)

徳 永 由 紀 子

第十六回 日本経済の国際化

——現地化要請と国際化戦略力——

(一九八七年六月三十日)

白 木 三 秀

第十七回 ファシズムとドリユ・ラ・ロシエル

(一九八七年九月二十九日)

山 本 周 次

第十八回 Topic "King of Instruments : An Introduction to the History and Construction of the Modern Organ"

(一九八七年十月十三日)

P.W.Hillebrand

第十九回 人的資源管理の課題(一九八七年十一月十七日)

進 藤 勝 美

## 二、学会研究分科会 (両大戦間期研究会)

第九回 「学問の自由と佐々木惣一博士

——立憲主義の栄光と挫折——」

(二月一六日 一・〇〇〇〜二・三〇〇)

並河啓后

第十回

「ナチズムとドイツ知識人」

——カール・シュミットを中心として——」

(二月二七日 一・〇〇〇〜二・三〇〇)

古賀敬太

第十一回

「ファシズムとフランス知識人

——マルタン・デュ・ガールに於ける異常性愛のテーマ——」

(二月十七日 一・〇〇〇〜二・三〇〇)

店村新次

第十二回

「第一次大戦末から日華事変までの証言」

(三月三日 一・〇〇〇〜二・〇〇〇)

足立忠夫

第十三回

「ケインズ管見——人と思想(I)」

(三月二二日 一・〇〇〇〜一・三・〇〇〇)

進藤勝美

第十四回

「ノーバート・ウィーナーの技術文明に対する自己  
告発」 (五月二二日 一・〇〇〇〜二・三〇〇)

市川亀久彌

第十五回

「ケインズ管見——人と思想(II)」

(六月二日 一・〇〇〇〜二・三〇〇)

進藤勝美

## 三、会員学外活動状況(学内での研究発表をのぞく)

(一九八六年二月〜一九八七年一月)

店村新次

論文・「マルタン・デュ・ガールに於ける異常性愛のテーマ」

(同志社外国文学第四号 印刷校正中)

市川亀久彌

講演・貿易摩擦下における創造性開発の在り方

(三菱電機中央研修所 一九八七年一月十二日)

・『次期文明像創出センター』の構想

(京都大学・京大会館 一九八七年五月十一日)

報告・創造理論からみた小説『黄金蠅』の全貌

(等価変換創造学会 一九八七年十月七日)

講演・創造工学からみた異常種交流の方法

(財大阪科学技術センター 一九八七年十月十五日)

高橋 宗

学会報告・子どもたちからみた父親像

——生活意識調査を通して——

(日本教育心理学会第二九回総会発表論集

一九八七年十月)

調査報告・生活意識に関する調査集計結果報告書

(聖泉短期大学心理学研究室 一九八七年三月)

山下 慶 親

翻訳書・P・H・シェリー編

『神を見出す場所——リヴァアサイド教会説教集』

(日本基督教団出版局 一九八七年五月十日)

論文・「国際化時代における私たちの課題」

(『湖畔の声』湖声社 一九八七年七月一日)

説教・「前のものに向かって」

(『学内礼拝』No.42 同志社女子大学宗教部

一九八七年三月一八日)

・「あるフィリピン人の生き方」

(同志社女子大学 一九八七年五月八日)

・「聖書の中の無名の人々」

(京都朝禱会 一九八七年七月六日)

講演・「アジアと日本の間で」

(滋賀YMCA総会 一九八七年五月二三日)

・「アジアから学ぶ旅行」

(京都市立中学校教育研究会国際理解教育部会

一九八七年六月三日)

エッセー・「世界を暖かくするために」

(『京都青年』No.47 京都YMCA No.四四七

一九八七年二月一日)

児 玉 正 幸

論文・「物体としての意志の特質と客観化」

(『密教文化』第一五八号 高野山大学密教研究会編

一九八七年三月)

古 賀 敬 太

論文・C・シュミットとT・ホップズ

(『政治経済史学』第二五五・二五六号

一九八七年七、八月)

山 本 周 次

翻訳書・ポール・アザール (共訳) 『十八世紀ヨーロッパ思想』

(行人社 一九八七年一月二〇日)

藤 戸 淑 子

講演・日本語教育とは

(福岡YMCA 一九八七年二月一五日)

・日本語音声教育について

(大阪YMCA 一九八七年三月五日)

・教育形態論 (大阪YMCA 一九八七年三月一六日)

論文・ベンチャー・ビジネスの経営危険(単)

『実践経営』第一四号 一九八六年一二月

調査報告・フェニックス堺21——伝統と創造(共)

(堺21世紀計画推進会議 一九八七年五月)

・石材の新用途開発と新市場開発の振興ビジョン(共)

(家島石材採掘協同組合 一九八七年二月)

・大阪ワイシャツ製造卸売業診断報告書(共)

(大阪市中小企業指導センター 一九八七年二月)

・長吉中央商店街振興組合診断報告書(単)

(大阪市中小企業指導センター 一九八七年二月)

・ショッピングセンター サンコー診断報告書(単)

(大阪中小企業指導センター 一九八七年十月)

・川西市産業基本調査(工業篇)(共)

(川西市 一九八七年三月)

研究報告・小規模商店街の活性化対策

(大阪市中小企業指導センター 一九八七年七月)

中道 信 廣

研究発表・新公益法人会計基準と実務上の問題点

(日本公認会計士協会・統一研修会)

一九八七年一月二七日

叶 野 清

著書・『経営事務要論——秘書に必要な基礎原理——』(共著)

(朋友社発行 一九八七年三月一日)

・『事務管理概説——秘書に必要な経営事務の基礎——』

(単著)(日本経営推進協会発行 一九八七年三月一日)

・『秘書学概論——秘書に必要な基礎知識・基礎姿勢——』

(単著)(日本経営推進協会発行 一九八七年三月一日)

・『文書管理要論——秘書のための文書事務の基礎——』

(共著)(日本経営推進協会発行 一九八七年九月一日)

学会報告・『経営環境の変化に対応する人事労務管理の考察』

(実践経営学会関西支部 一九八七年三月二八日)

・『これからの人事労務管理とクラスター制度』

(実践経営学会 一九八七年一〇月二二日)

報告・『男子中堅社員の能力開発について』

(株)日本マンパワー 一九八七年一月

・『昭和六二年経営環境と人事労務管理の課題』

(株)大阪府工業協会 一九八七年一月

・『これからの賃金制度のあり方と決定実務について』

(株)三井銀行総合研究所 一九八七年一月

・『賃金計画と人件費管理のすすめ方』

(株)大阪府工業協会 一九八七年二月

・『個別賃金の管理と賃金体系の改訂』

(株)大阪府工業協会 一九八七年二月

・『諸手当の考え方と合理化の方法』

(株)大阪府工業協会 一九八七年三月

・『初級管理者の職務能力の開発について』

(滋賀県甲南町役場 一九八七年三月)

- ・『会社行事とビジネス冠婚葬祭について』  
(住友ビジネスコンサルティング(株) 一九八七年三月)
- ・『福利厚生のポイント』  
(住友ビジネスコンサルティング(株) 一九八七年三月)
- ・『部下の指導方法とOJT方式の導入について』  
(大阪府八尾市商工会議所 一九八七年三月)
- ・『新入社員が一日も早く立派なプロ社員になるためには』  
(株)日本マンパワー 一九八七年四月)
- ・『就業規則の作成方法と運用について』  
(大阪府鍍金工業組合 一九八七年四月)
- ・『労働関係法令の制定・改正に伴う人事労務管理諸規則の見直しと改訂の実務について』  
(大阪府工業協会 一九八七年四月)
- ・『最近の労働経済情勢と人事労務管理の課題』  
(大阪府工業協会 一九八七年四月)
- ・『これから生き抜く経営者の心構え』  
(大阪府鍍金工業組合 一九八七年四月)
- ・『社会・労働保険の実務手続について』  
(株)日本経営協会 一九八七年五月)
- ・『職場におけるリーダーシップについて』  
(大阪府労働部職業管理課 一九八七年五月)
- ・『会社が期待する初級管理者の条件』  
(株)日本マンパワー 一九八七年六月)
- ・『女子中堅社員の職務能力開発について』  
(株)日本マンパワー 一九八七年六月)
- ・『管理監督者の職務能力開発について』  
(滋賀県甲西町役場 一九八七年七月)
- ・『管理職の職務活性化について』  
(京都府亀岡市役所 一九八七年八月)
- ・『OJT方式による効果的な部下指導の方法』  
(株)日本マンパワー 一九八七年八月)
- ・『管理者に必要な基本的管理方法について』  
(滋賀県職業能力開発協会 一九八七年九月)
- ・『必ず売上げが伸びる営業販売術について』  
(株)大阪府工業協会 一九八七年一〇月)
- ・『福利厚生事業の上手な運営ポイントについて』  
(住友ビジネスコンサルティング(株) 一九八七年一〇月)
- ・『海外進出企業の国際人事管理の進路』  
(『先見経済』(清和会) 一九八七年二月)
- ・『中国人の合併企業と労働』  
(『労働研究所報』(東京都立労働研究所) 一九八七年三月)
- ・『企業内情報システムの進展と労働：個人・職場への影響』(『構造転換期の労働市場に関する理論的・実証研究』雇用職業総合研究所・統計研究会 一九八七年八月所収)
- ・『How Can Japanese Companies Be Internationalized in the Field of Personal Management: With Special Reference to Those Operating in

ASEAN Countries” Paper presented at the Departmental Seminar of Department of Japanese Studies, National University of Singapore: Singapore, September 1987.

報告書・『日中労働調査交流団報告書』（共著）

（日本労働協会 一九八七年一月）

・『アジアにおける情報産業の現状と国際協力に関する研究』（共著）（機械振興協会経済研究所・平和経済計画会議 一九八七年三月）

・『東京都における労働市場の構造と変化』（共著）（東京都立労働研究所 一九八七年三月）

・『企業内教育に関する調査研究報告書』（昭和六一年度通商産業省委託調査）（共著）（全日本能率連盟 一九八七年三月）

・『人造り協力研究報告書』（共著）

（国際協力事業団国際総合研修所 一九八七年三月）

・『高齢社会における雇用政策のあり方：人生八〇年時代の労働と生活』（共著）（高齢社会問題研究所 一九八七年三月）

・『新規事業の組織と人材』（共著）

（機械振興協会経済研究所 一九八七年五月）

・『これからの労働分野の技術協力：調査研究報告』（共著）（今後の労働分野における技術協力のあり方研究会、一九八七年七月）

・『ライフステージからみた障害者の就労と意識に関する調査研究2』（共著）

（労働省・身体障害者雇用促進協会 一九八七年八月）

村上則夫

論文・経営意思決定における意思決定支援システムの役割（単著）（『実践経営』No.一四、実践経営学会発行 一九八六年二月）

学会発表・情報化とネットワーク

（第二〇回実践経営学会全国大会

一九八七年十月十三日）

研究ノート・情報システムとネットワーク化（単著）

（『関西実践経営』No.二、実践経営学会関西支部発行 一九八七年十月）